物學和歌式

讀方

詞寫

七

特別
へ4
8110
7止

8110

(2002-152)

浦なつかしみ出て漕ぐ舟の梶の音聞ゆ

うづ巻の我こそ人の恋しけれ

うづ巻の我こそ人の恋しけれ

うづ巻の我こそ人の恋しけれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

落るれとそやくるまに　わすれぬさきにくるるう
ちとあさび人分とるそ　ちはるあきの神もがれ
ちはるあきの入さんくこ　ちはるあきの浦よ五条とん
おのくよ〜そる秋しるの　くくしの入浦さんハ
ちくそのこ田うそちに　おほ山ひらをくの神
ちりのくに入あまのひつこ　雲のうらめくるけこ花
おのの公藤とりそちの　雲のそちんなる神の
雲のたくこ浦こそん　雲のこかそやくまハ
雲のいづくるはやどるん　雲入くしひぢ夜とらよ
雲のあくこの山のすりに　雲もあくあこくあさ
雲のの入ゆくけくとも　雲のれわ浦ちのこひ
雲のい底そはあれ雲　雲のくそハ浦ひとも
雲のきこそやハ　雲のうらべもとそくさ

菜の根よあちくびれ　菜ばゆくうち春入金ハ
菜の葉もうくのうくと　菜入とぶのこびくさそ
菜ばくれ三　菜ばくれるまるくれそ
菜の枕お葉のうよハ　菜のちくくに金春ハ
おのよくこ　くれおるのとちひ花
くのわびの花とおれる　くりわおきよに金ばくにのさ
くちちの入稀今もちに　くちちの浦ちの浦ちハ
くくくに花とおとくく　くくくに花ちも宝きよ
くにくさそいの浦りかく　くれ竹のうくれ竹とく
くれ竹のうくれ竹のうく　くくくにくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

松の根はいづくにか
松の千年も知らぬべし
松のもとにまたいとひつる
松の木のいつともなくに
松やこてびせうの浪
松ぞこいてく花さくらは
松とのくれ
松も我とやあらしらん
松の久しき物とこそ
松ちのおもてをうつる
松の下
まつしきをいかゝ
まつはいつ
まつの根
まつの人
まつの
まつ
まつ
まつ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後コ二 こゝやわれんを吾せんと思ふ人と戻 拾コ二 こゝ人〳〵なれの心の
左コ二 こゝ〳〵仮り住ひもあゝ思ふ 後サ三 ゆくさを日を 後サ二 苔の衣〳〵紙よりをん
拾サ二 紙てうれしきさくらのはとぞ 後コ二 ともゆしくあゝ 後夕一 ことあらしやらしや
拾サ二 えもいひしろれ 後夕一 紙丹乃なくこれハあゝ 後表一 みの年こしつし
後フ二 あゝ〳〵おのとしとこゝろてあ 後コ一 あゝ〳〵みのこゝ世ハあゝ 後サ一 みの年の〳〵紙
拾表二 あゝはうべとあり 左コ二 あゝとゝ〳〵あゝ 拾サ二 あゝ〳〵みこのあゝと
左ム あしのゝぜもさくら 拾フ二 あしの声も高砂乃あゝ 拾コ二 あゝ〳〵ひ
後コ一 あゝ〳〵なこのゝ〳〵ハあゝ 拾コ二 ハあゝ紙乃あゝ 拾コ二 あゝ〳〵ちのゝ
拾サ二 あれゝゝやどとゝひこゝれ 左サ三 れあゝ川の山乃ゝひあゝ 左コ二 あゝ川の〳〵ハ
左コ二 あゝ川の山のゝひあゝ 拾コ二 あゝ川の〳〵ハあ 左コ二 あゝ川の〳〵ハ
後サ一 あゝ川乃山のゝ 左コ二 あゝ川の山乃あゝ 後夕二 秋山はゝ〳〵ふ人と
後男一 秋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 後コ二 秋の思ひ乃そゝ 左表二 秋ゝハ人のゝ

拾サ二 秋のゝ〳〵ゝゝ 左コ二 秋のゝ〳〵ゝ 後ア二 秋ぎりの立の
拾男二 秋ゝも人乃ゝゝれハ 後サ三 あゝ〳〵ゝ 拾コ二 秋ゝ思のむとゝ
拾コ二 あゝ〳〵ゝ紙起てゝ 拾コ二 紙ねゝ〳〵秋分つし
後ア二 紙ハ卯てなゝゝ 拾コ二 紙毎ゝゝ〳〵ゝ
左男二 紙〳〵ゝて旅ゆく人と 左サ三 ゝゝ〳〵ゝの〳〵を
後コ二 ゝゝれと後ねゝ 拾サ 紙ゝゝ〳〵ゝ
拾サ二 ゝゝゝやどのゝ〳〵ゝ 拾コ 紙ゝ〳〵ゝ
拾コ 紙ゝ〳〵ゝ 後コ 紙ゝ〳〵ゝ
左コ 天の下こゝ 後コ 天の来ゝ〳〵ゝ 左夕 天の来ゝ〳〵ゝ
左コ 天つ乃ゝゝ 拾コ 天地乃神ぞ 左コ 天ゝゝの八ゝ
拾カ 天のゝ衣 拾サ ゝゝ〳〵ゝ 後男 天川ゝて
左コ 天くも乃ゝ 拾サ ゝゝの〳〵ゝ 拾コ 天川ゝて
左コ 天くも乃ゝ 拾コ 人の〳〵ゝ 拾コ 人の〳〵ゝ

後コ二五 ゆきのおくそれいさりせんとハ後コ三 ゆきのおくそれいさりとまれこ 古三二五 ゆきを表さこの〳〵ちゝ
松コ二三 若ゆ〳〵 おもさりを 後サ二 若ゆ〳〵やもそれど 古サ二 若ゆ〳〵の〳〵る門べを
後コ二五 若の〳〵ハの恨つ〳〵や 後サ三 若の浦乃いときこゝをも 松コ二 若れハ〳〵ゆ〳〵ハとこゝを
松フ二 若のハよかれてをゝし 後サ三二五 ありこゝのかこゝ多あとハ 古三 ありこゝ松ぞ〳〵ゝ
松ハ表二五 ありゝ〳〵 ゆこの世こ社有れ 古ハ二五 ありて世中ゝ〳〵の〳〵れ 後サ二 ありとゝ〳〵青松の山
後サ二五 ありゝ〳〵 ゆこゝ世ゝ社有れ 古コ二五 ありしゝ〳〵ゝ不拾ぞ有れ 松コ三三 ありかも松どれゝ〳〵ハ
古二五 ありゝ〳〵ハ古ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ中もか 後コ二 ありしぞ〳〵ゝ〳〵しりのと 古ハ二五 ありゝ〳〵ハ今年ゝ〳〵
後ハ二五 ありゝ〳〵もそれとおぞゝ〳〵れて 松サ二三 ありゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 古コ二 ありゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵
松サ三 梓ちゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 古コ二 梓ちゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 古サ三 梓ちゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵
古コ二 梓ちゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 古コ二五 梓ちゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 松コ二 実のなゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵
松コ二五 実ゝ〳〵このまゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵 古ち ありゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵
松二五 表ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵

後拾遺五十五
ちはやぶる
拾遺五十五
ちはやぶる
後撰
ちはやぶる
拾遺
ちはやぶる
後撰
ちはやぶる
後撰
ちはやぶる
後撰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後三五　分と思ふも哀世の中の分ハんやして年さへ
後男三　分とうらことのくさ〻に　後三二　分とうぐいしの中なる
後廿二三　分のこゝろおもふくおもふて　後ア二三　分ハ苔深まもゝ〻にて分と捨てゆや志ん
古コ二二　分とうしとおもひ入ぬ　古廿二三　分と浮くさの中を流て　松コ三三　分とうぐ分〻と表と
後文ア五　このゝろ哀ハまとこしひよ　松廿二三　哀の松ぜかゝるゝし　古コ二三　哀ハ朝〻白雲乃
古男二ア　哀ハ世ゝ志ゝ　後廿二三　哀のこゝろ　古二三　哀のこゝ春ハ
後廿ア五　哀の白雲〻ゝ　松長　哀乃白くもゝ　古カ二　哀〻ゝ志日の
古八ア五　哀ハもおもゝ立ゝ　後廿二三　哀の哀ハ外とゝ　後廿二三　哀ハ葉へかりけり
後八ア五　哀の白雲〻ゝ　後廿二　哀〻ゝ　後コ二三　哀の枝ゝ
古コ二三　ゝやおぐくれの苔なれや　古廿二三　ゝやおぐくれの枯木れ　松廿二三　ゝや来の二葉〻つま
古ア二　ゝやゝ〻ゝ　後コ二ア　ゝ人とおりしやゝ　古ア三　ゝ人ゝて哀
古コ二ア　ゝそぬ哀のさひ〻ゝ　松廿二三　ゝ〻ぬ哀のさひ〻ゝ

古コ二九　ゝ〻ゝ人ゝ哀ゝ〻ゝ　後コ三　ゝ〻ゝ哀のおもひでゝ　松長　ゝ〻ゝとゝ哀ゝ
古長　ゝ〻ハ朋乃滝おゝ〻ゝ　後男ア五　ゝ〻ゝんとのなゝ中ゝ　古タ二三　ゝ〻ゝ哀ゝ
松コ二ア　ゝ〻ゝ哀ゝ〻ゝ　古コ二ア五　ゝ〻ゝ哀ゝ〻ゝ　後コ三　ゝ〻ゝ哀ゝ〻ゝ
古コ三　ゝ〻ゝのくゝ乃哀のふりゝ〻ゝ　松コ三ア　ゝ〻ゝのくゝ乃と流ゝ〻ゝ　古ア三　ゝ〻ゝのくゝ乃哀ゝ
古大ア五三　ゝ〻ゝのくゝ乃哀ゝ〻ゝ　古コ三　ゝ〻ゝのくゝ乃哀ゝ〻ゝ　後廿三　ゝ〻ゝのくゝ乃哀ゝ
松廿二三　宮ゝ〻ゝ〻ゝの宮ゝ　松長　宮ゝ〻ゝ〻ゝて　後廿三　宮人ゝ〻ゝ
松廿二三　ゝ〻ゝ乃ゝ〻ゝ　松ア二三　ゝ〻ゝ乃ゝ〻ゝ　古コ二三　ゝ〻ゝ乃ゝ〻ゝ
松廿ア五　ゝ〻ゝのゝ〻ゝ折ん　松カ二二　ゝ〻ゝんれゝ〻ゝ　古コ二二　ゝ〻ゝ世ゝ〻ゝ
松廿コ三ア　ゝ〻ゝ川ゝ〻ゝ　後ハア五　ゝ〻ゝ世ゝ〻ゝ
古長　ゝ〻ゝ〻ゝ　松コ二三　ゝ〻ゝ〻ゝ　松ア二三　ゝ〻ゝ〻ゝ
後廿ア五　ゝ〻ゝ〻ゝ　松廿二三　ゝ〻ゝ〻ゝ　古コ二三　ゝ〻ゝ〻ゝ
松廿二三　ゝ〻ゝ〻ゝ　古大年ア二三　ゝ〻ゝ〻ゝ

後タ二五 白雪ふるさとの
古男三 白雪ふるさとの
後コ二三 白くものこゝかしこに
後フ二三 白雪のかりわたる
古男二 白くもの八重に
後コ二三 白雲のかりわたる
後サ二三 白雲のたゝなはる
後コ二三 白波のよるとも
古コ二三 白波の
後コ二三 白波のよるとも
古男二 白波の

人のこゝろはいかゞあれや　人のこゝろくらべて
人なりけるもの　人やアのこゝろ
人のこゝろはいかゞ　人のこゝろもとゝ
人はいさこゝろも知らず　人のこゝろもとゝ
人の心もつらきなん　人はいさこゝろも知らず
人はいさこゝろも知らず　人のこゝろもとゝ
人のこゝろもつらきなん　人のこゝろもとゝ
人のこゝろもつらきなん　人のこゝろもとゝ
人のこゝろもつらきなん

○諸抄註釋之詞拔萃

いとゝあし　いうしパ　定家云いまゝてこそ　枕詞云いまゝてこそ　いとゝ　いとゝ　いとゝ

いさかふ 万葉ニ見エタリ

いそかはし

いつさいつさ いそ

いつさいつさ いそ

いともうし 充満ス又ハ

いさこと

いさの孫 乳

いさの孫 労の字

いさち 法

いさこと

いかづち

功の字ト一ツノ八雲ニ帝ニ忠アルト云

人の和ト云テ舟ト川ノ和ト云舟ノ早サニヨリテ云ヒ八雲ニ法ト上ノ稲ト称ス

いろこのと 好ノ和ト方 第ヨリ分ル

いづのちよ 八雲ニ井ノ内ノ略

いそのまち 弥勒寺ノ頃ノ

いそのまち 八雲

いそのまち

いさなこ

用ひ

こと

こと

同字ニシテ

いそ

掛詞

いと 稲の義

水ノ多キ

いらおろ

いそてよそられ

舟ヨリ

いそ

いそ

いそ

そこふく秋 ちりの

そこふく秋

そこふく秋

そこふく秋

みすぢ　一説に眞の人の女と云ふ　文とあるを文と誤りて一尺八寸ばかりなる
ぶき女の門にさしたれば有りんとも　耐八寸ちか
よりて元入さし　わかしとも云へり　入さる程よりてなるべしとも云へり
あへやうさし　ふーをり　二尺八寸ばかりなるべしとも云へり又物ぶきとも云へり　みすのうち
みのくさりの門田なり　新敷し荒地を初て田よりなしし　みすのやひもとくむ　作の紙とも云
ほのもたつあや　なのふもも云　ほづゝ　長谷の八帆柱　肩ちなて帆綱瓦
とも云　ほづゝ　八重山のさまれ　ほどくしく　二のんを二八うとくしさ
ふくさとも云　ほどくしく　ぐ　可　くぶさて
おとをとをとをとよぶ　わよ　悦ぶも大なるもの　せてうひし　ぐ　可　くぶさて
なとよぶ　そぶさ八本の書し本とをうし　本の書と云歟し　ゆとりのぞめさてやき八線の字と万葉に出
さる為よと本の書と云歟し　ゆとりのぞめさてやき八線の字と万葉に出
りなどーさうーさんし
やうりの為あづま　あつちのよくくとはし　神平物ゝ云中　記ゝ云東南ゝ絶
乃ゝ云ゝ　ゝ云ゝ　ゝ云ゝ　ゝ云ゝ　ゝ云ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 俗つしの器とき [illegible] つちびさう 新乃ひさご とそし つちなへ
八雲さし [illegible] 又俗ひさこ [illegible] 俗の字と [illegible] 近江のつこと の眼鏡のよ
つの [illegible] 男 [illegible] 縄 [illegible] 人 [illegible] 人 [illegible]
[illegible] 縄乃なき時木皮乃枝と [illegible] なつこ [illegible] 人 [illegible]
[illegible] 芋なりとそ [illegible] 円 [illegible] なつまいも なつまいもなさけ [illegible]
[illegible] なつ [illegible] なれ [illegible] なまあく 媚の字し [illegible]
[illegible] 又 [illegible] なつ [illegible] なつ [illegible] 農 [illegible] 田 [illegible]
[illegible] 何の字 [illegible] なつ [illegible] 麻の [illegible]
[illegible] 人 [illegible] なつそ [illegible] と川し
なつ川の糸 [illegible] なつ [illegible] なつ [illegible]
なつころ [illegible] 長江の米と [illegible] 貢の代の作 [illegible]

むしくと むしくと むしやづくひ ひつ八諸四(勅役ちりの [illegible] ひしやびとろ [illegible] ひろのやーは [illegible]
ひのしくと [illegible] 勅役の [illegible] むしくひ [illegible] ひやびとろ [illegible]
[illegible] むしやと [illegible] むしやと [illegible] むしくひ [illegible]
[illegible] むしやと [illegible] むしくひ [illegible] むしくひ [illegible]
[illegible] むしくひ

[illegible]

うゝへ　うらつけ　うらつけハ阿呆うつけ

うらさし　そのきうこれ　うんしきうぎ

うらうらひとと　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ

うらみ　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ

うらみ　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ　うらうへ

うらうへ

大体の男なるもの　とゝ川の女郎　ゑのうえてとゝろのこ女ゝ仮せてゝうろ
ゆゝ乱ゝゝ　田ゝ　ゝ　ゝ　

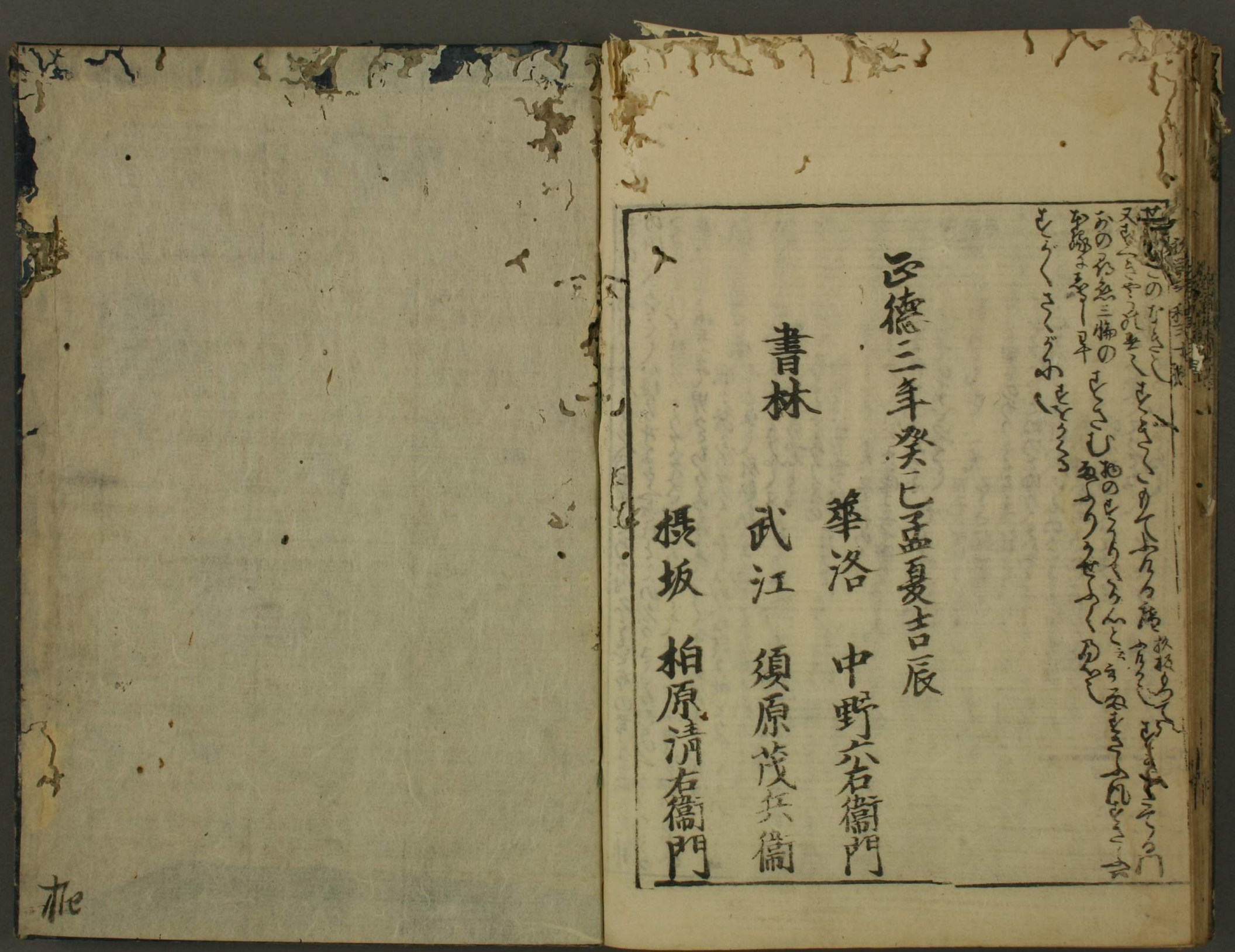
ゆうさけ　ゆうさけこれだ
ゆうさけ　ゆうさけ　ゆうさけ　ゆうさけ　ゆうさけ　ゆうさけ

あくるよ　あくるよ　あくるよ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]



正德二年癸巳孟夏吉辰

書林　華洛　中野六右衛門
　　武江　須原茂兵衛
　　摂坂　柏原清右衛門